

鶴川図書館大好き！の会 図書館カフェ in 鶴川

2020.1.18. 鶴川市民センター和室にて

この日は、地元の方に広く知っていただきたいと、初めての図書館カフェを開いた。コーヒーとお菓子も用意。しかし思わぬ雪に見舞われてしまったが、14名の参加者と話し合いが行われた。

1. 代表の挨拶（富岡）

12月に高橋副市長に要望書を手渡ししてきました。副市長は、「今後地元と話し合いながら進めていきたい」とのこと。市は、団地の建て替えにかかわらず2年後に鶴川図書館の閉館を方針としている。きちんと話し合いをしていきたい。

2. これまでの経過と現在計画中の活動についてパワーポイントで説明（鈴木）

資料：①再編計画と町田未来の会と鶴川図書館大好き！の会
②2019年5月からの鶴川図書館大好き！の会の活動

2017年図書館活動を進める会からまちだ未来の会が生まれ、市民によるまち作りを考える中、第22回学習会で鶴川図書館存続のための本会が立ち上げられた。しかしここに来て市は計画を実行に移しつつある。「効率的、効果的な図書館サービス」アクションプラン案で、2022年度鶴川図書館の閉館と代替機能の導入、駅前図書館の指定管理制度導入を公開。請願や要望書を無視する市の姿勢に対してどのように取り組むか正念場である。

3. 指定管理者制度が駅前図書館に。指定管理制度とは何か？（守谷）

資料：図書館と指定管理制度、何が問題か？

2003年地方自治法改正前は、公の施設は地方公共団体の管理であったが、小泉政権の構造改革の中、法人その他の団体で指定するものが管理できるようになった。現在全国のプールや市民ホールは7割近く指定管理となっている。図書館は16.8%。立川、青梅市は指定管理になっており、町田市も以前から団体からの働きかけがあった。民主党政権時、片山総務大臣は、図書館には指定管理はなじまないと発言した。図書館の資料収集は、長い時間がかかる。指定管理は3年から5年の契約であり、長期の仕事の継続ができない上に、コスト削減で職員の給料は時給980円くらい、時間のかかる仕事はやれないために図書館の機能はだんだん失われていく。指定管理業者は、TRCなど大手が6割を占め、競争がない。

4. 制作中のPR動画の上映（美大生奥山さん）

5. 討議

○町田市でも、ひなた村、野津田公園等、公園はほとんど指定管理。野津田公園は、協議してやっていくはずだったが、次第に指定管理業者主体になってきてやりにくくなってきた。

- 図書館は駐車場とは違う。指定管理はなじまない。
- 指定管理の図書館で、「奥の細道」が旅行の棚に並んでいたと聞く。
- 今、指定管理業者の社員募集の広告が多く見られる。
 - 大和市のシリウスは、地上6階が全部図書館となっはいるが、有料の勉強室、大きなホール、子供の遊び室、飲食店等、図書スペースではない場も含み、集客に力を入れているようで、本来の図書館活動としては、市民一人当たりの貸出冊数は、5冊。(町田市は9冊。)
- 指定管理の図書館では思想信条にとらわれずに資料収集がなされるのか、また、プライバシーは守られるのか？疑問である。
- ポプリの図書館は、オムツ交換ができ、食事もできて、過ごしやすい。しかし、年配の人は行けない。鶴川図書館は、ほんわかしていて、近くに越してきた子連れの娘にはいい場所である。
- まちライブラリーについて。南町田のまちライブラリーに行ってみたが、案内板にもないし、人に聞いても知らないと言われた。スヌーピーミュージアムの隣にあるのをやっと見つけた。蔵書は寄付された本のみで、少なく、購入することはないとのことだった。
- 建物は誰が建てたのか？人は2、3人いるが、委託業者の運営か？
- 図書館に必要な要素は、基本的な本があるということ。代替機能ではできない。
- 探す楽しみがあるということ。鶴川の歴史というような調べる資料があるということ。
- 駅前図書館で感動したことは、探せなかった本を調べてくれて、倉庫から出してもらえたことと、他の図書館とネットワークで繋がっていて教えてもらえたこと。
- ネットワークは、70年多摩地域で始まったが、指定管理では繋がりがなくなっている。月1回代表者連絡会はあるとのことだが、職員同士の繋がりはない。
- 今の鶴川図書館は、買い物している間子どもを行かせることができるが、閉館になって駅前にバスに乗って子どもだけで行かせられるかということ、行かせられない。
- 議員への働きかけが必要。バス停のベンチは言ってこの12月おいてもらえた。図書館についてレポートを書いてもらえば、渡したい。
- 今回の集まりについて、議員ポストに入れたり、メールで知らせたりしたが、返事はない。
- 駅前図書館の指定管理導入と鶴川図書館閉館に反対する請願を出したらどうか？
- 鶴川図書館閉館についてどうなるのかと思っている人はたくさんいるはず。今回の図書館カフェのお知らせを配ったところに、それでどうなったかを知らせる必要があるのではないか？(今回お知らせのチラシは800枚配布)
- 2月はじめ、生涯学習部は、図書館アクションプランを教育委員会に提出、市議会に行政報告されるが、質問の機会があるだけで決定されてしまう。
- このような大事なことは、市議会で議論され、議決されるように自治条例などで法的

な仕組みを作らなくてはならない。

- 図書館活動をすすめる会は、3月14日茨城県守谷市の図書館を訪問し、指定管理から直営に戻した経緯を聞く予定。
- 指定管理 CCC は、ブックオフを傘下に持ち、ブックオフで売れ残った本を図書館で買い取りして問題になった。
- お話ボランティアをやっているが、鶴川地域で活動するお話ボランティアが横に繋がって活動する“つるかわ図書っこ応援隊”を昨年4月に立ち上げた。3月の図書館まつり鶴川図書館で鶴川3小の子どもたちとコラボする他、夏休みに紙芝居ワークショップを開いたり、図書館に動物クッションを作る活動を地域の人に呼びかけるなどささやかでもやっていけることはないかと計画中。協力をお願いします。
- 2月12日 地区別懇談会鶴川地区に出席して、他の団体と繋がりたい。
市民センター ホール 9：30～

6. これからについて

- ・2月15日 次回の図書館カフェ 図書館の人に出席してもらい、話し合いをする予定。近藤館長の出席をお願いしたい。
- ・3月7日 3回目の図書館カフェ、PR動画の上映もする予定。(第2会議室)
- ・多摩地域の他市の図書館との比較できるデータを揃える。
- ・地元議員とも話し合いの場を持ち、議会で質問してほしいことをまとめた案を作って渡すなど、議員にもわかってもらう工夫をする。
- ・まちライブラリーの現状を調べる。
- ・鶴川図書館大好き！の会便りを出して、図書館の大きな動き、集まりの様子や今後の活動などを知らせる。